

EARTH ECO
MAIL MAGAZINE

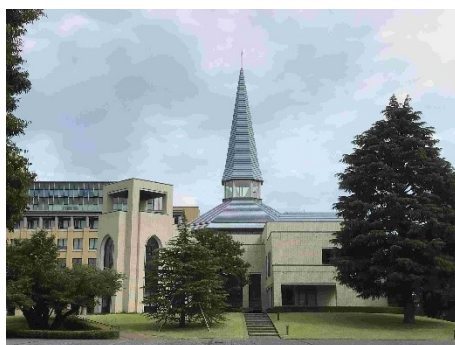
アース・エコ メールマガジン

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にあ
アース・エコの活動をお知らせするため、不定期にメールマガジンをお届けしています。

7月に入ったばかりですが真夏の暑さが続いています。今月に入って35℃を超える猛暑日は横浜ではまだあり
ませんが、東京ではすでに2日記録しています。熱中症で亡くなる方のニュースも報じられ、エアコンの適切な使
用が呼びかけられています。20年前はエアコンは贅沢品で、そのための電力使用は環境負荷を増やす悪者の印
象がありました。今ではエアコンは健康維持に不可欠になりましたが、過度な使用は環境負荷の増大を招く上に
健康にも良くないので、温度設定や使用方法に細かく注意して適切な使用を心がけましょう。

さがみはら環境まつり2024

6月23日(日)、青山学院大学相模原キャンパスで第20回さがみはら環境まつり2024が開催されました。主
催はさがみはら環境まつり実行委員会です。



アース・エコは2019年までは単独参加してブース出展しましたが、コロナによる2年間の中断の後、2022年
からは、さがみはら地球温暖化対策協議会(温対協)*の団体会員として参加し、温対協の出展に協力しています。

温対協は実行委員会にメンバーとして参加し、開催に協力しています。今回はブース出展のほか、実行委員会
企画として3つの工作教室を開催し、ステージショーにも出演しました。アース・エコはこのうちブース出展に協力
し、1つの工作教室を担当しました。



温対協のブースでは、「電気の仕事」で手回し発電機を回して発電を体験したり、地球温暖化を防止するために自分でできることをポストイットに書いてパネルに貼ったりしてもらいました。予想を超える200名以上の皆さんがブースを訪れ、対応に追われました。

アース・エコが担当した教室は「ソーラーオルゴールを作って鳴らして温暖化防止」で、事前予約した小学生15名とその保護者の皆さんが参加しました。ビデオを見て地球温暖化について学び、省エネチェックシートを使って「省エネチャレンジ目標」を決めた後、ソーラーオルゴールを組み立てました。予定より少し時間が伸びましたが全員が順調に完成させることができ、参加者の皆さんも満足そうでした。



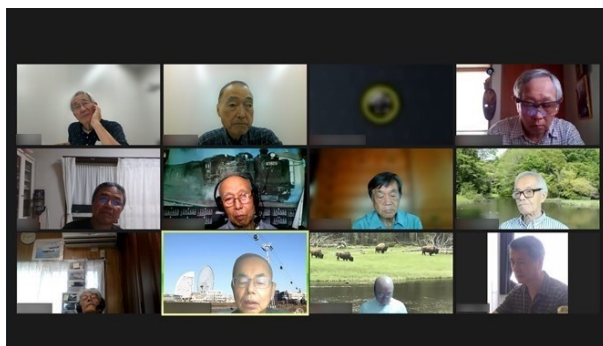
青山学院大学での開催は今回が初めてで、最寄りのJR横浜線淵野辺駅からは徒歩7分程の距離。来場者用の駐車場がなく、しかも当日は朝から雨だったため、出足が心配でしたが、予想を上回る皆様にご来場いただき、盛況のうちに終わることができました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。 [桑原]

(※さがみはら地球温暖化対策協議会は今年4月より特定非営利活動法人になりました。)



6月理事会・例会・合同勉強会を開催

6月26日(水)、6月理事会・例会・合同勉強会をオンライン(Zoom)主体+会議室(ユニコムプラザさがみはら)で開催しました。参加者はアース・エコ会員が8名、オブザーバー6名の計14名でした。



合同勉強会に参加した皆さん

6月理事会からの報告

特にお知らせすることはありませんでした。

協議事項は、引き続き電子メールの交換により協議、承認を行います。

6月例会

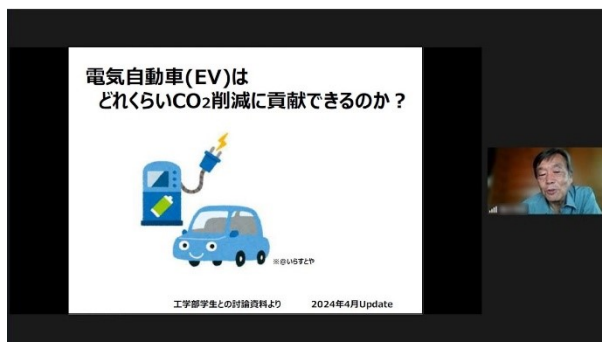
- 小学校の夏休みの期間、7～8月に実施予定の工作教室3件について、参加者の調整等を行いました。
- 5月に開催した令和6年度通常総会の結果を報告しました。また6月に実施した川崎市幸区内の小学校の出前授業、さがみはら環境まつり等の実施結果の報告がありました。
- アース・エコの組織課題と対応策を検討するための検討会を発足させることにしました。

合同勉強会

電気自動車(EV)はどれくらいCO₂削減に貢献できるのか？

環境学習リーダー会※の会員から発表がありました。

EVは走行時にほとんどCO₂を排出しないクリーンな自動車とされますが、使用する電気の発電時に排出するCO₂等も考慮する必要があります。メーカーが発表しているデータに基づき、同程度のサイズのガソリン車と比較すると、走行時のCO₂排出量はガソリン車の半分弱です。発電時に排出するCO₂は電源構成に依存するため、国によってこの値が異なります。自然エネルギーや原子力の割合が多いヨーロッパの国と比較すると、天然ガス・石炭火力が多い日本は値が大きく、従ってEVのCO₂排出量も多くなりますが、今後自然エネルギーの割合が増えれば下がる可能性もあります。その他、車載バッテリーの問題点として、重量が重いこと、製造時のCO₂発生量が多いこと、低温時に航続距離が短くなること、などが指摘されました。



(※合同勉強会は神奈川県環境学習リーダー会エネルギー部会と共同開催しています。)

今年は土用の丑の日は、7/24と8/5の2回あります。何故かな？

アース・エコ会員から発表がありました。

土用とは最近では立秋の前18日間を指します。立秋は二十四節季の一つで春分点を基準として決まるため、年によって多少前後しますが毎年ほぼ同じ時期になります。一方、丑の日はこれとは別に十干十二支の60日を周期として12日毎に回ってきます。この二つ周期の違いにより、土用の18日間に丑の日は2回まわってくる年があり、今年2024年はそれに当たるため、との説明がありました。

これからの活動予定

- ◇ 7月28日(日) エコ工作教室、横浜市長津田地区センター
- ◇ 8月4日(日) 夏休み環境学校、エコパークさがみはら

◇ 8月9日(金) 夏休みこども環境体験学習、大磯町郷土資料館

これらの予定は変更になる場合があります。詳しくは事務局までお問い合わせください。

7月例会・合同勉強会

7月24日(水)にオンライン主体+会議室(ユニコムプラザさがみはら)での開催を予定しています。開催の詳細、オンラインでの参加方法等は会員の皆様には後日メールでお知らせします。詳しくは事務局までお問い合わせください。

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学できます。

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡は

メール earth.eco.jimukyoku@gmail.com

ホームページ <https://npo-earth-eco.com/>

ホームページ



地球温暖化やボランティア活動に関心のある方 **私たちと一緒に活動しませんか？**